

僕は掘る。

1130093 竹田佳祐

高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

現在日本では多くの地域で過疎・少子高齢化が深刻な問題となっている。今回の敷地である高島も同じ状況であり、様々な対策がとられている。しかし、島民である私は、島に移住者、観光客が増加することを嬉しいとは思わない。過疎・少子高齢化は止めようがないものとして捉え、最終的に人がいなくなった時のために、この島に人が生きてきた証だけを残したい。島で古くから扱われてきた石を使って。

1. 背景と目的

1-1 背景

現在、日本では多くの地域で過疎・少子高齢化の問題が深刻化している。その中で、少しでも人口を増やそうと様々な対策が講じられてきた。今回の敷地である高島でも同じような状況である。過疎・少子高齢化が進み、空き家を安く貸し出すなどの対策が行われている。しかし、そのような政策が功を奏し、移住者や観光客が増えたとする。果たして、島民はそれで嬉しいのか。島には昔から居たものどうしコミュニティがしっかり確立されている。そこに多くの新参者が現れるという結果を、私は嬉しいとは思えない。それよりも、自分たちの祖先が歩んできた歴史を感じながら、静かに終わりを待つのが良いのではないか。高島には巨石を使った遺跡や石切り場の跡がいたる所にみられる。つまり、島民の祖先は古代の巨石信仰から始まり、近代の石切など、その歴史を石と共に歩んできたと思われる。

1-2 目的

本設計では、過疎・少子高齢化は止めようのないものと受け止めることにし、人が住んで生活を営んでいた証を建築空間として残す。たとえ人が全くいなくなったとしても、そこを訪れた人がわかるようにする。なお、建築空間はこの島の歴史の中で常にそばにあった石を掘って作りあげることとする。

2. 高島の石をめぐって

2-1 敷地の選定とその理由

今回選定した敷地は、私の出身地である岡山県の南西部に位置する笠岡市の高島という離島である。前述したとおり、現在は若者の流出により人口が著しく減少し、子供も数えるほどしかいなくなっている。典型的な過疎・高齢化地域といえる。その問題に対して、島の出身者という立場から建築的な提案を行いたいと思い選定した。



対象敷地航空写真

2-2 巨石信仰

古代、この島では巨石信仰が盛んに行われており、現在もその跡が多く残っている。島の東西南北の高台に置かれた磐座。巨石信仰の中心であった磐境、王久山遺跡。西磐座付近にある子妊石という巨石は安産、婦人病の神様として奉られ、現在もこの石に触るために、島を訪れる人もいる。

子妊石 写真

王久山遺跡 写真

2-3 石切

近代に入り、笠岡市のいくつかの島では石切が盛んになり、それは約60年前まで続いた。島から切り出された石は大阪城の城壁や靖国神社の鳥居などの他、笠岡湾干拓や日本鋼管の工場建設に使われた。高島もその島の内の一つであり、当時の島民の大半が石切を生業とするようになったほどだった。しかし、石切は需要の減少とともに、どんどん衰退していき、私の祖父を最後に石切を行う人はいなくなった。今ではその石切り場の跡だけが残っている。しかし、その風景は圧倒的であり、人の生業の副産物でありながら神々しさにも似た印象を受けるほどだ。



石切り場跡 写真1



石切り場跡 写真2

3. 設計主旨

3-1 基本方針

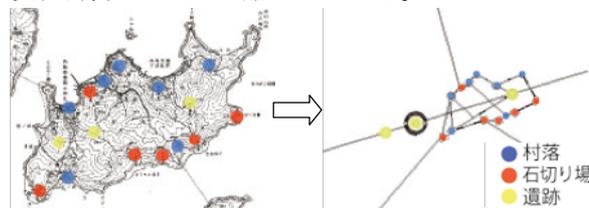
高島の石に焦点を当てて設計を行う。古代と近代の歴史を図式化し、それを古いものから積み重ねることで一つの空間とする。

建設は、石切の末期に切り出していた方法を利用し、掘削していくこととする。つまり、削岩機と黒色火薬を使用する。

また、この建設は私1人が始めるものとして、そこから賛同者がいれば、随時加わるものとする。

3-2 平面構成

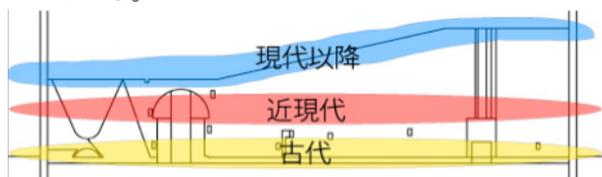
全体の配置は島の村落と石切り場、遺跡などの位置の踏襲している。古代部分は実際の1/15、近現代部分は30/1に縮小している。



平面ダイアグラム

3-3 断面構成

最下層から古代、近現代、現代以降となっており、地下に下るほど時間軸は昔へと遡る構成となっている。



断面ダイアグラム

3-2 古代の空間

最下層に位置する古代の空間は東西軸から15°ずれた軸線に沿って配置する。これは子妊石、王久山遺跡、島民が神武様と呼び今でも繋がりが深い高島遺跡の3点を結んだ線である。

3-3 近現代の空間

近現代の空間は古代の空間の上部に配置され、高島遺跡の空間から広がっている。古代に繋がりが深い場所ほど床面が低くなっている。また、島の北と西にある石切り場跡に通じており、現代の主な石の売られ先である福山港と笠岡湾干拓地の方角に向いている。

3-3 現在以降の空間

古代の空間から螺旋階段を登っていくと、現在以降の空間、つまり地上に出ることができる。これからの時代によって変化する島の様子を感じることができる。